

「ガイド実践皇居東御苑研修」

2018年9月8日（土）実施 JGA 第一支部研修報告

9月8日（土）09:20-12:30、「ガイド実践皇居東御苑研修」が開催されました。

まだ暑さの残る日差しの中、鹿児島からの会員も含め23名（会員19名、非会員1名、委員3名）が参加し、熱心にガイド実践研修に取り組みました。

まずは矢木野さか恵講師による英語でのモデルガイディングで大手門の説明から三の丸尚蔵館や武道場の濟寧館を説明、そして同心番所から百人番所までガイディングしました。

その後沢本和歌子講師に代わり、中之門跡から大番所を通り、火事跡の残る中雀門跡を過ぎて、天皇陛下のご発案で植えられた江戸時代の品種の果樹が実る果樹古品種園を視察。そして1657年の明暦の大火の後、1659年に再建され、天守閣の役割も持ったと言われる、現存する櫓の中では最も古い富士見櫓を見学。その後、松の廊下跡で忠臣蔵



の話のさわりをガイド。丁度外国人観光客が立ち止まり聞き、納得した様子でした。そして、多くの桜の品種が植えられている桜の島を通り、天守台へ。天守台から見える桃華楽堂の説明や、遠くに見える武道館では1966年にビートルズが演奏した話題も説明。その後、北桔橋門のつり橋構造を説明して、後半は再度矢木野講師に交代。梅林坂を下り、石垣の前で基



本的な石組（野面積み、打ち込みはぎ、切込みはぎ）の説明をした。そして47都道府県の木が植えられている道を通り、諏訪の茶屋で夏に涼しい日本家屋の造りを説明。最後に、二の丸庭園の中で使われている滝や池、灯籠の種類を通し、日本庭園の特徴を説明した。熱心な英語によるガイディングで時間の経つのも忘れてしまいそうでした。10:45からは4グループに分かれ、先ほどガイディングを聞いた場所を中心に、今度は各参加者が英語でガイディング実践を行いました。最初は少し緊張気味でしたが、何度も練習の番が回り、英語ガイドを繰り返していく内に、言葉も説明も滑らかになり、皆さん大いに自信を持ったことと思

います。最後に質疑応答の時間をとり、疑問点をすべてクリアにできたかと思います。皆さんの熱心なガイディングで今日の暑さも忘れてしまうほどでした。今後の皆様のご活躍が目に見えような研修となりました。